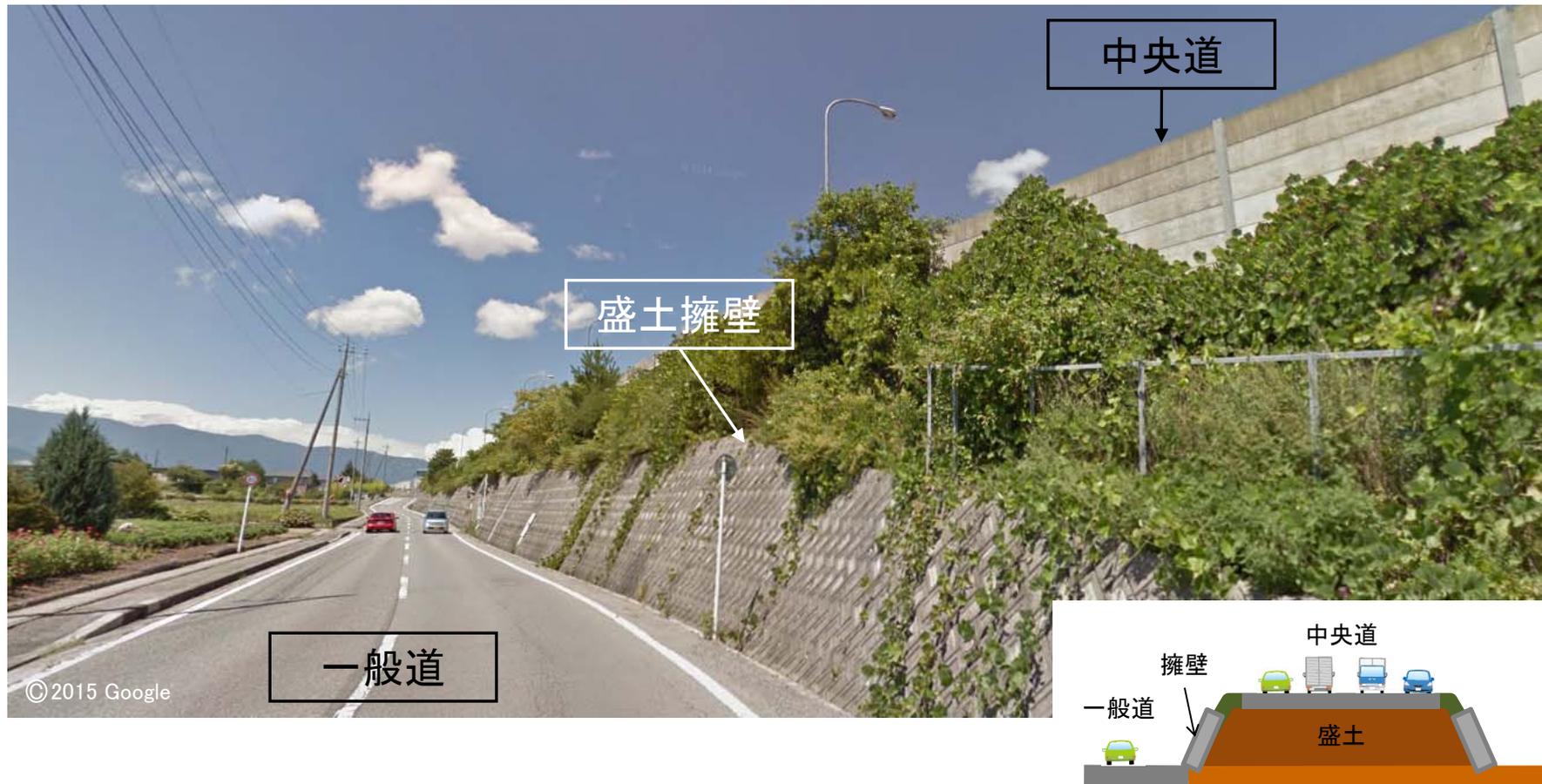


# 高速道路の道路構造などの事例紹介

- ・高さ5~7m程度の盛土(土を盛って作る道路構造)です。
- ・この写真は中央道沿いの一般道から中央道を見上げています。
- ・盛土の斜面を植栽しており、草木で覆われています。



- ・高さ5～7m程度の盛土(土を盛って作る道路構造)です。
- ・盛土表面にコンクリートの壁(擁壁)を設置して急な勾配の盛土をすることもあります。
- ・この写真では、ブロック積擁壁と呼ばれるコンクリートブロックが設置されています。



## 【北杜市(須玉町若神子)】 低い切土構造(植栽)

【中央自動車道の事例】

- ・高さ5～10m程度の切土(山を削って作る道路構造)です。
- ・この写真では中央道から切土斜面を見上げています。
- ・斜面は植栽しており、草木で覆われています。



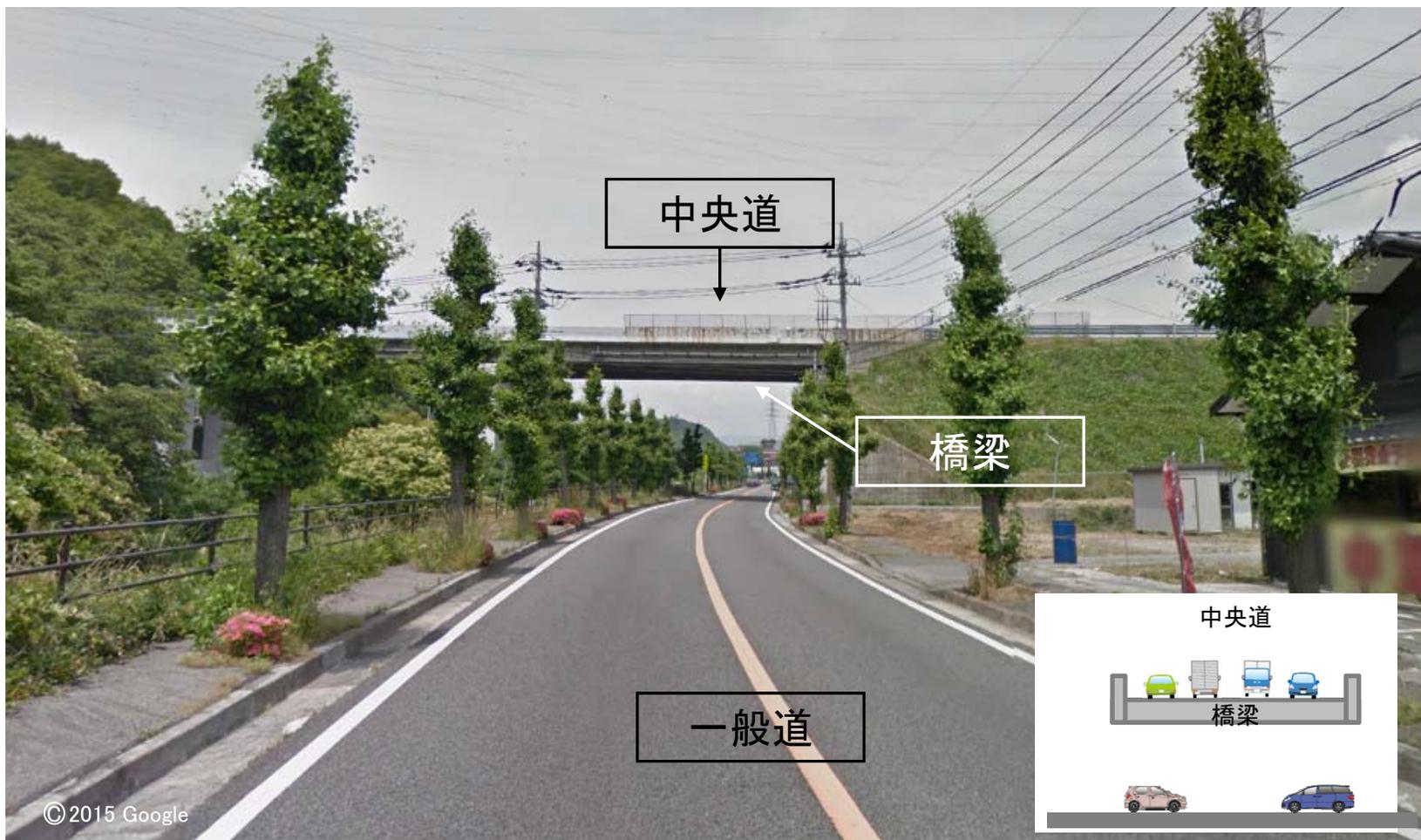
【北杜市(長坂町大八田)】 低い切土構造(コンクリート吹付・擁壁) 【中央自動車道の事例】

- ・高さ5～7m程度の切土です。
- ・この写真は中央道から切土を見上げています。
- ・左側は表面にコンクリートを吹き付けして斜面を保護しています。
- ・右側はコンクリートブロックを設置しています。
- ・ここでは上部は植栽されていますが、全てコンクリートで覆う場合もあります。



【北杜市(国道141号須玉町若神子)】 小規模な橋梁構造 【中央自動車道の事例】

- ・中央道の下を一般道が交差しています。
- ・この写真の箇所では、中央道が橋梁構造になっています。

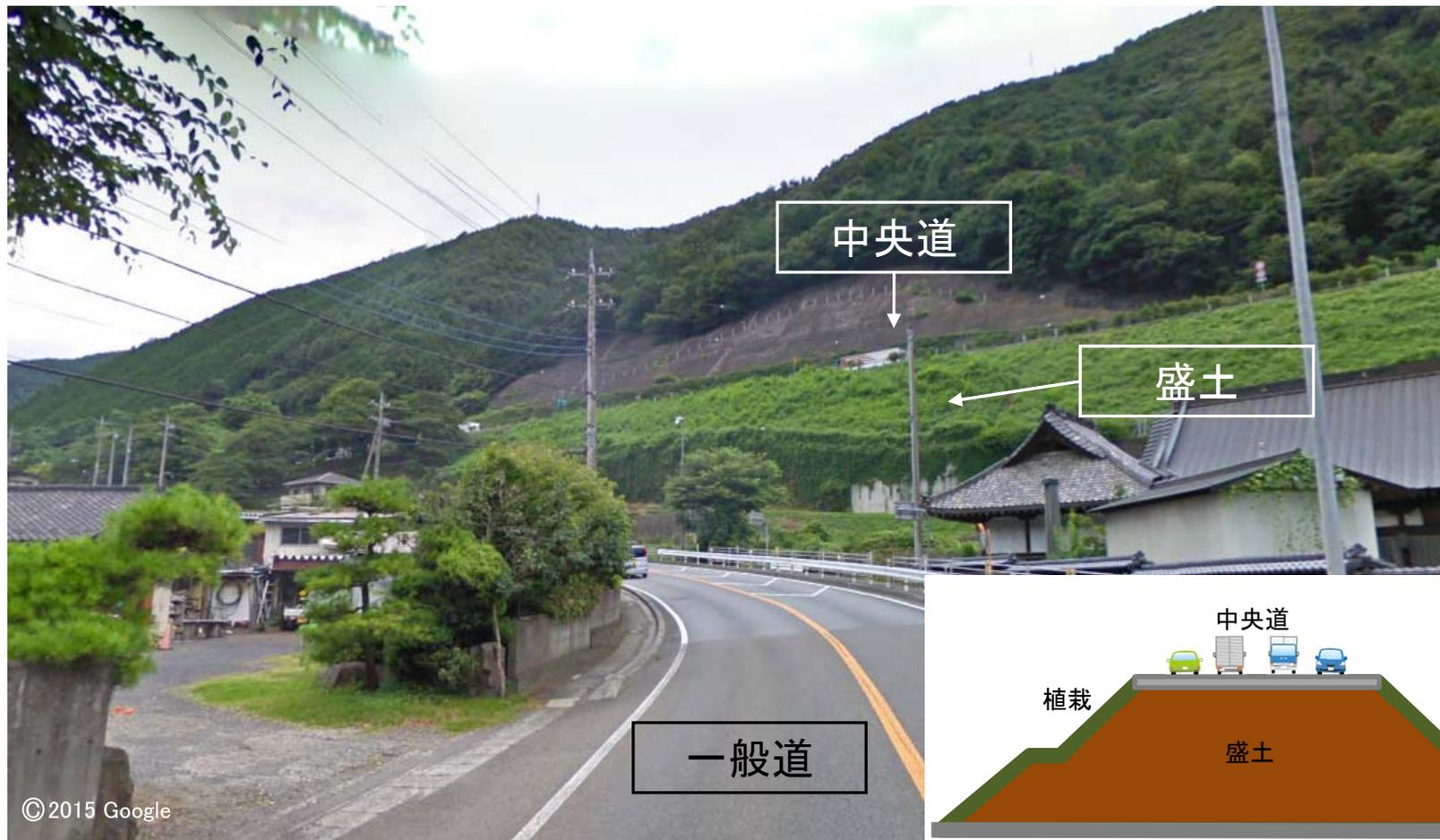


## 【北杜市(長坂町大八田)】 小規模なコンクリートのトンネル 【中央自動車道の事例】

- ・中央道の下を一般道が交差しています。
- ・この写真の箇所では、一般道がコンクリートのトンネル構造(ボックスカルバートと呼ばれる)となっています。



- ・笹子峠付近(大月市)では、北杜市区間よりも急峻な山地を中央道が通過しています
- ・10m~20mといった高さの盛土になっているところがあります。
- ・この写真は一般道から中央道を見上げています。
- ・盛土斜面は植栽しており、草木で覆われています。

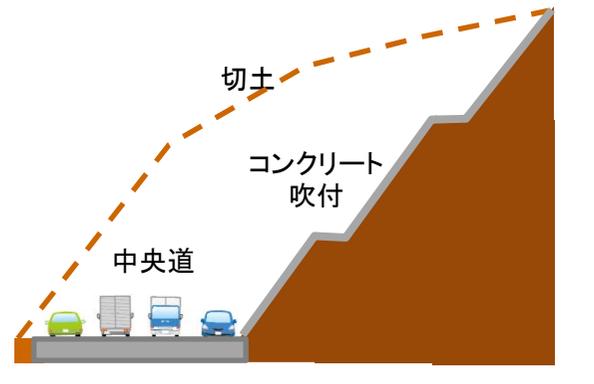


- ・笹子峠付近(大月市)では、北杜市区間よりも急峻な山地を中央道が通過しています
- ・10m~20mといった高さで山を削った切土構造になっているところがあります。
- ・この写真は中央道から切土斜面を見上げています。
- ・切土の斜面は植栽されています。



## 【大月市(笹子峠付近)】 大規模な切土構造(コンクリートの斜面) 【中央自動車道の事例】

- ・10m～20mといった高さで山を削った切土斜面となっています。
- ・この写真は中央道から切土斜面を見上げています。
- ・切土斜面は急勾配で、表面がコンクリートで覆われています。



© 2015 Google

中央道

## 【大月市(笹子峠付近)】 山を通過する長大なトンネル

【中央自動車道の事例】

- ・笹子峠のように、切土が非常に大きくなる箇所では、トンネル構造となります。
- ・この写真は中央道上でトンネルに向かっているところです。



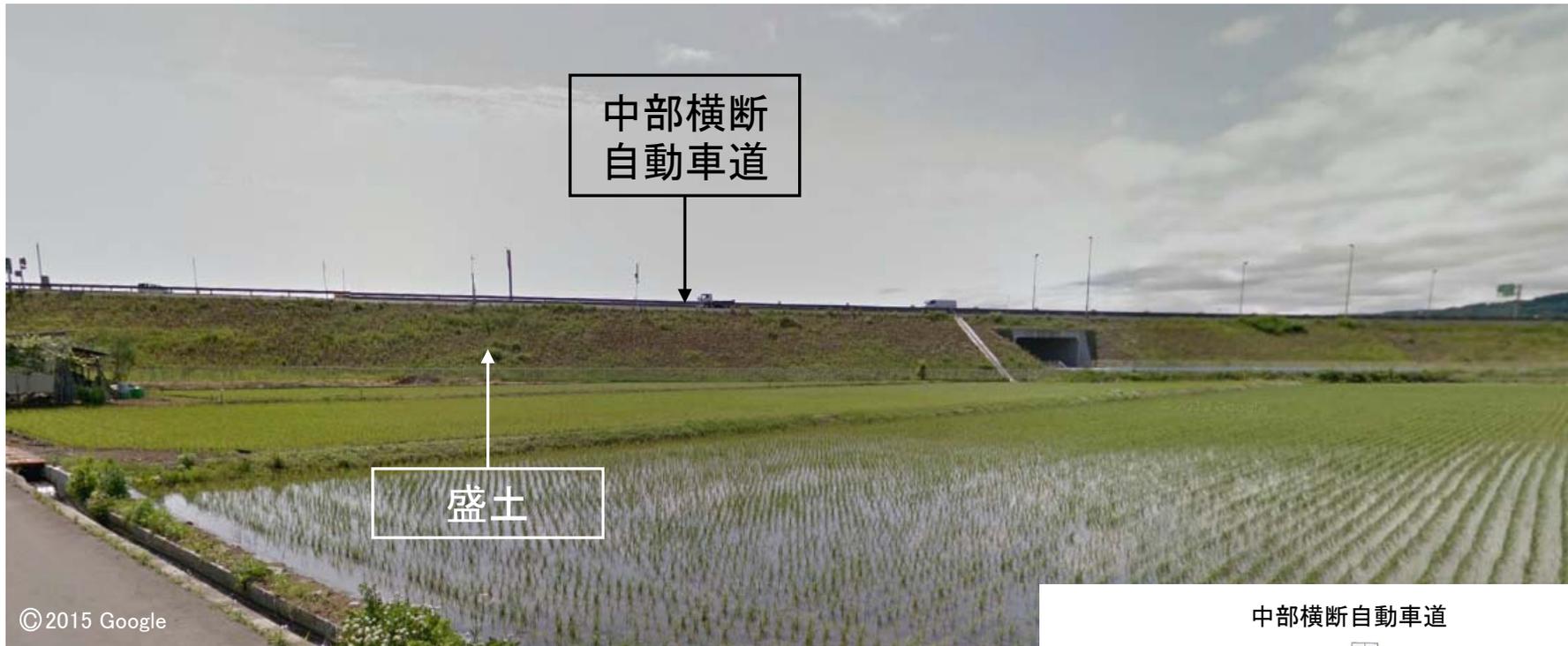
- ・高低差のある区間では、地面より高い位置に橋梁となることもあります。
- ・この写真は中央道の橋梁(コンクリート橋)を見上げています。



- ・中部横断自動車道の長野側区間では既に通している区間があります。
- ・この写真の区間は、低い盛土構造です。
- ・盛土の上の方は植栽、下の方はコンクリート擁壁を設置しています。



- ・この区間の盛土は、コンクリート擁壁を使わず、全て植栽されています。  
(この写真では、あまり草木が生い茂っていませんが、年月が経つと北杜市内の中央道のように斜面に草木が繁茂します。)



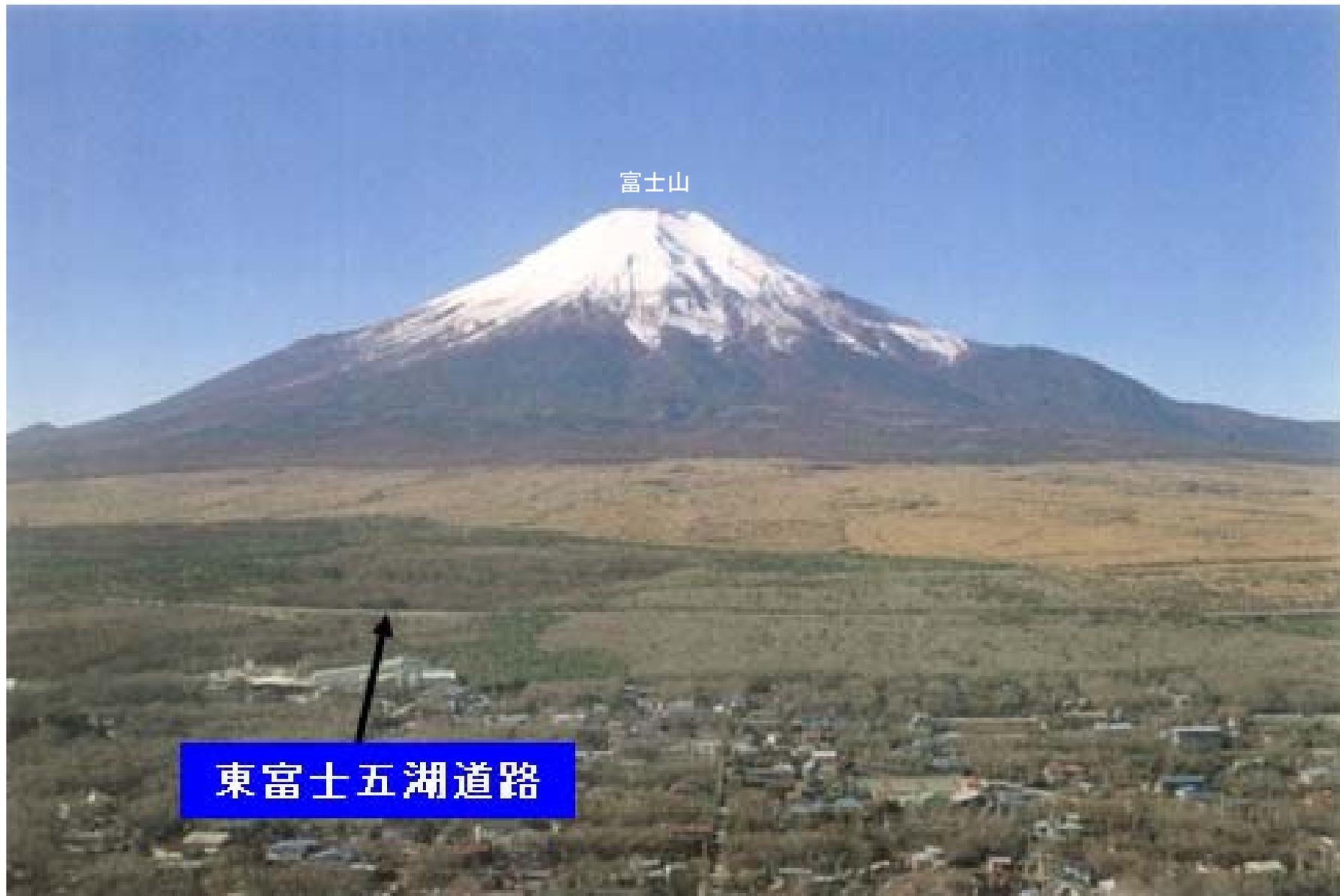
- ・中部横断自動車道から、浅間山が真正面に見える箇所があります。



- ・中部横断道の南側区間です。
- ・この区間では、平地部に連続した橋梁構造を採用しています。
- ・平地部の連続した橋梁構造は、用地縮小・道路横断の利便性向上などにメリットがあるため、一般的に、“都市部で多く採用される”構造です。



- ・富士山麓の自動車専用道として、東富士五湖道路の道路構造を紹介します。



- ・この写真は並走している一般道から東富士五湖道路を見上げています。
- ・この区間では、盛土構造を採用しており、のり面に樹木を植栽して自然保護に配慮しています。



○道路斜面(のり面)の緑化

（周辺に自生する樹木の種子を植えて、自然環境を保全することがあります）

【地域性苗木の生育例(八王子JCT付近)】



植樹後11年目の法面



植樹前の法面

○山岳地の自然景観と構造物の調和

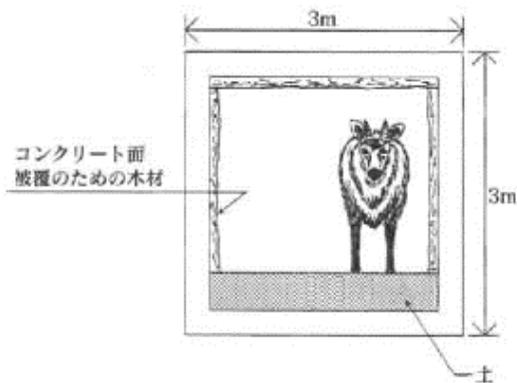
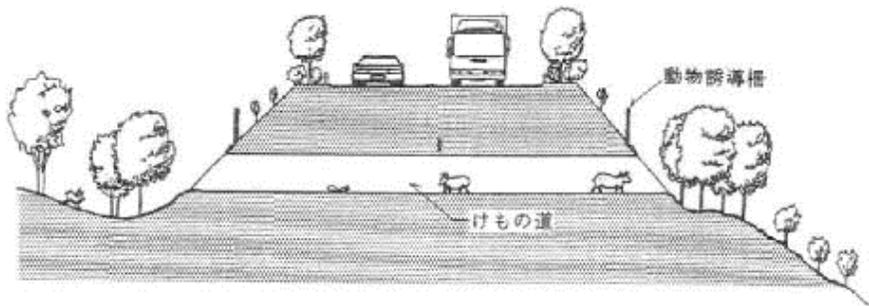


写真－国道115号土湯バイパス 横向大橋（福島県耶麻郡猪苗代町）

自然景観の中に細長い橋脚で支持されたシンプルな箱形態が構造美をもたらしている。

## ○動物横断施設(動物が使うトンネル・橋)設置

一般国道108号(鬼首エコロード)  
 (宮城県鳴子町鬼首～秋田県雄勝町)



野生動物が道路を横断できるよう、道路下にトンネルを設置

## 北杜市にある野生生物のための橋梁

旧清里有料道路(北杜八ヶ岳公園線)や市道では、清里の野生動物(ヤマネなど)が道路を横断できるよう、道路上にアニマルパスウェイが設置されている。



出典：道路環境影響評価の技術手法「13. 動物、植物、生態系」の環境保全措置に関する事例集 平成25年3月 国土技術政策総合研究所資料p I-49

出典：道路のデザインp159、160 財団法人 道路環境研究所

### ○遮音壁（目隠しタイプ／透明タイプ）



金属製の遮音壁（北杜市内の中央道でも設置されている）



透明タイプの遮音壁（京葉道路／千葉県千葉市）

出典：道路のデザインp119 財団法人 道路環境研究所

### ○照明（周辺への明かり漏れの少ない照明）

【高欄内蔵照明】上方向・道路周辺への光を制限



出典：ネクスコ東日本

低い位置に照明器具を設置して横方向に照らすタイプ（新東名（遠州森町PA付近）／静岡県周智郡森町円田）